

# 「第41回かわさき市民祭り」で周知活動を行いました。

塩と暮らしを結ぶ運動では、2018年11月2日（金）から4日（日）に、神奈川県川崎市川崎区の富士見公園一帯で開催された「第41回かわさき市民祭り」（主催：川崎市／第41回かわさき市民祭り実行委員会）において、周知活動を行いました。

このお祭りは、「つくろうみんなのひろば」を合言葉に、市民、団体、企業、ボランティアの協力により運営されており、会場の富士見公園一帯には地元の企業などによるたくさんのブースが出展されるほか、ステージイベントやパレードなども行われ、例年、50万人から60万人もの来場があります。

川崎区に事業所のある日本精塩株式会社（日本特殊製法塩協会会員）は、例年、このお祭りにブースを出展して、商品の即売を行っていますが、今回は、このブースで、塩と暮らしを結ぶ運動の周知活動も行いました。

同社のブースには、販売する商品や商品のPOPのほか、運動のポスターも掲示しました。そして、ブースに来られた方々に、運動の冊子『塩と暮らしのあれこれBOOK』とクリアファイルをお配りしました。

特に2日（金）、3日（土）は天候にも恵まれ、3日間合計では約54万人もの来場があり、日本精塩株式会社のブースも大変賑わいました。冊子やクリアファイルをお渡しした皆様からは、塩イルカが「可愛い」と好評で、用意した部数は、初日でほぼ無くなってしまいましたが、約300名の方に、塩と暮らしの関わりや塩と暮らしを結ぶ運動について、お伝えすることができました。

